

整形外科で大腿骨近位部骨折の治療を受けられる患者さんへ

大腿骨近位部骨折データベース参加に関して

2022年4月より市立福知山市民病院整形外科では、大腿骨近位部骨折で加療される患者さんの診療情報を用いた研究を実施いたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的および意義

大腿骨近位部骨折は高齢者の健康や活動性を奪う重大な疾患で、高齢化の進行する日本だけでなく世界的な規模での対策が求められています。NPO 法人日本脆弱性骨折ネットワーク (FFN-J) が中心となって進めている日本の大腿骨近位部骨折データベースプロジェクトに参加して、日本における大腿骨近位部骨折の状況や課題について検討する治療経過の登録を実施します。患者さんを確実に追跡することによって骨粗鬆症の治療率の向上や二次骨折の予防が期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2022年4月以降、50歳以上の方で、市立福知山市民病院整形外科において大腿骨近位部骨折の治療を受けられた方を対象とします。

2) 研究方法

Excelに入力した下記情報を日本脆弱性骨折ネットワーク(FFN-J)に送付します。
退院された後も骨折後30日、120日、365日の状況の聞き取りを行います。

3) 使用する情報

ID、性別、受傷時年齢、受傷前住居、活動性、認知、全身状態
骨折側、病的骨折の有無、骨折のタイプ、骨折直前の骨粗鬆症に対する薬物療法、
受傷日時、入院日時、手術法、手術待機時間、麻酔の種類。入院中の生存状態、褥瘡、内科医の関与。
手術翌日の立位、退院先、退院日時、入院期間、骨粗鬆症に対する薬物療法、
入院日から30日後の情報(再入院、再手術、生存状態、活動性、住居、骨粗鬆症に対する薬物療法)
入院日から120日後の情報(同上)、
入院日から365日後の情報(同上)

4) 情報の保存

登録されたデータは当院およびNPO 法人日本脆弱性骨折ネットワークの責任下に保存されます。

プライバシーは厳格に守られます。

3. 問い合わせ

この研究について質問等があれば、担当医師までお問合せください。またあなたの情報が研究にしようされることについてご了承頂けない場合には研究対象とはしませんので、担当医師にお申し出ください。情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否のお申し出がすでに情報提供後となり、当該措置を講じることが困難な場合もありますので、ご了解頂くようお願いいたします。

4. 研究組織

NPO 法人日本脆弱性骨折ネットワーク(<https://ffn.or.jp>)

〒950-3304 新潟県新潟市北区木崎 761 番地

TEL:025-368-7255